

薫 嶺



一年間のPTA活動を ふり返って



PTA会長

大林 直樹

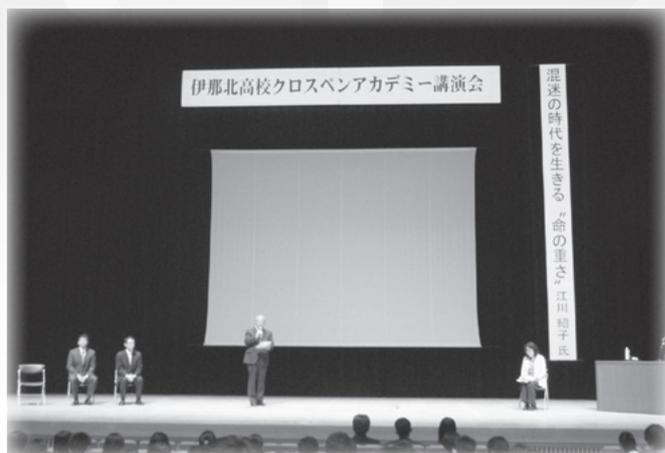
PTA会長を務めさせて頂き、早いもので一年間経とうとしております。これまで無事に活動ができたことに対して、会員の皆様、役員の皆様、校長先生をはじめ多くの先生方のご協力に感謝申し上げます。

さて、本年度のスローガンは「育もう。未来を生き抜く力を」でした。これは子供達に高校生活三年間の中で、今後の不透明で混沌した時代を生き抜いていく力いわゆる生きる力を育んでもらいたいという想いがあります。我々のPTA活動の中で、その生きる力の醸成に寄与できたかはわかりませんが、各事業を通じて子供達に寄り添うことができ有意義な活動ができたと思っております。

一年間のPTA活動を振り返ってみますと、例年通りではありますが、PTAカルチャー講座、二回にわたるクロスベンアカデミー講演会を開催しました。これらは伊那北高校ならではの素晴らしい活動であり、会員の皆様とともに自己研鑽することができました。また、役員として北信越及び全国PTA連合会研究大会にも参加し、全国のそれぞれの地域のPTA会員が子ども達の為に行っている様々な取組みを知ることによって刺激を受け、地域の大人としての姿勢、どう地域の子供達を育む努力をするべきかを学ばせて頂きました。こうした多くの機会を享受できたことに大きな喜びを感じております。

PTA会長として諸活動に取組んだことであらためてPTA活動の重要性を肌で感じました。少子高齢化が進む中で国や県が提言している教育改革に伴う高校再編を含め子供達の教育環境の変化が激化する中で、PTA活動の役割が重要視されると思えます。これまでのPTA活動の財産を受け継ぎ、時代に即応したPTA活動が必要になるかと思われまます。

最後になりますが、本校は来年創立一〇〇周年を迎え、記念事業が行われます。この記念事業が盛大に行われ誇るべき伝統が引き継がれ、伊那北高校が未来永劫発展することを切に願ひ、挨拶とさせて頂きます。一年間大変お世話になりました。



文化・教養委員長 有賀 うらら

文化教養委員会の活動は、六月に行われ例年大好評であるPTAカルチャースクール及び九月の合唱コンクールへの参加です。PTAカルチャー講座は今年は十二講座が開設され、講師の先生方のご協力のもと、日頃お忙しい保護者の皆様に楽しい時間を過ごしていただきました。以下参加者の感想です。――すぐく楽しく参加させていただきました。ロールケーキは巻くのが苦手でしたが今回は大変勉強になりました。(ケーキ講座)「声を出して笑って体を動かす」知り合いが居ない中での参加で勇気がいりましたが楽しい時間でした。(バトミントン)自分の選ぶ色と身に着ける色で脳と体が無意識に反応しているのが分かりました。(色彩心理)

合唱コンクールでは趣のある曲を見玉先生と伊那北高校合唱部のサポートにより、気持ちよく歌い上げることができました。

子供の成長と共にいつの間にか学校に関わる機会が少なくなり、これが最後のPTA活動と思うと寂しい気持ちになります。一年間楽しい時間を過ごさせていただきありがとうございます。

施設・厚生委員長 栗林 七郎

本年度、二回のクリーアップ作業を予定していましたが、六月は雨も心配されましたが、一学年の保護者の方の御協力のもと、無事行うことができました。十月については、残念ながら台風の影響で中止となりました。

この美化活動に参加することで多少なりともお世話になっている学校(個人的には母校)に恩返しができただのではないかと思います。また、本活動は、普段は顔を合わせない保護者の方がコミュニケーションをとる良い機会であると感じました。今後もこの伝統行事が長く続くことを願っています。

至らない委員長ではありませんが、委員会活動に参加させていたことで、PTA活動や学校のことを知ることができました。

参加していただきました保護者の皆様はもちろんですが、準備など御足労いただいた委員の皆様、そして先生方に感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

生活指導委員長 石井 正樹

生活指導委員会の活動は、地域懇談会の計画及び進行、PTA総会・カルチャー講座・合唱コンクールの駐車場誘導・強歩大会交通整理・街頭補導でした。

どの活動も先生方をはじめ各地区委員や保護者の皆さんに協力いただき運営することができました。心より感謝いたします。

九月の強歩大会では残暑の中、一生懸命走る生徒の姿を沿道で応援していただいた方々と一緒に見守ることができました。生徒達は先生方や保護者だけでなく、地域の皆さんにも支えられていること実感しました。

十月には、台風十九号により東北信を中心に大きな被害を受けました。本校では災害ボランティアを募り、被災地へ派遣しました。被災された方は、先生方や生徒の活動を心から感謝していることと思います。地域住民から支えられ、助け合いながら、成長していく姿を、間近で見ることが出来たことはとても良い経験になりました。

一年間ありがとうございました。

広報委員長 清水 光吉

広報委員会の皆様、また先生方のご協力を頂き無事、「薫嶺」一四四号、一四五号の発行出来る事が出来ました。

この役を務めさせて頂き、広報委員の皆様が役に對し本当に真面目に、徹底的に仕事をしてくれたと深く感じております。子供達の活動の場をしっかりと当番で対応して頂き、写真の不備は全くなかった事が今回の委員の素晴らしい成果だったと思います。また、先生方も全く分からない私達に對し、的確な指導を頂き、活動がスムーズに出来ました。

広報委員会は活動の記録と広報という大役ではありますが、短い子供達の成長過程を、通常以上に近く見れて、確認できたという点で良い委員会を任せて頂いたと感謝しております。

最後になりますが、素晴らしい委員会のメンバー、先生方のおかげで何とか委員会を運営出来たことを感謝申し上げます。ありがとうございました。





9月6日(金)



ベストピアニスト

学校合唱コンクール



めったに聞けない
レベルの高い合唱です。



R1年9月6日(金) 伊那文化会館

全員表彰



伊那北高等学校合唱コンクール



金賞
3 D

伊那北高等学校合唱コンクール



第52回 伊那北高等



伊那北高等学校合唱コンクール



銀賞
3 A



銅賞
3 B

伊那北高等学校合唱コンクール

結
果

- 金 賞：3年D組「正解」
2年A組「夜明けから日暮れまで」
- 銀 賞：3年A組「ほらね、」
2年F組「IN TERRA PAX」
- 銅 賞：3年B組「泣いているきみ」
3年C組「はじまり」
2年E組「信じる」
- ベストコンダクター：3年D組 米山 真希
- ベストピアニスト：2年A組 辰野七々帆



ベストコンダクター



銅賞
3 C

伊那北高等学校合唱コンクー

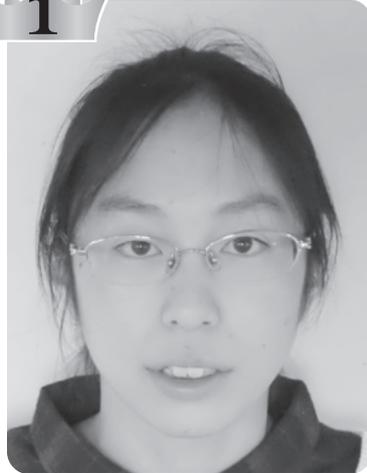
第54回

9月27日(金)





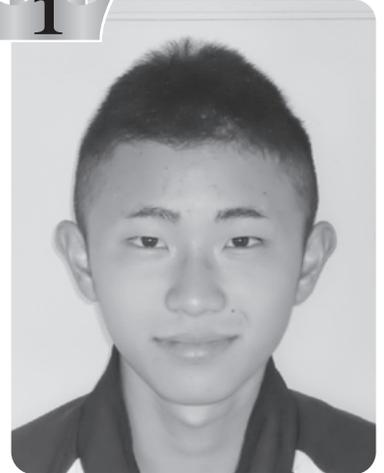
昨年走れなかった分、今年優勝できて嬉しいです。後半、きついときもありましたが、最後まで走りきることができて良かったです。



女子1位 日野まほろさん(3-A)



前半は2位集団の中で落ち着いてスローペースで行けたことで残り10kmに体力を残すことができました。また、給水をうまくできたので、おなかの痛みや足がつるようなことがなくて良かったです。1位を目指していたのでとても嬉しかったです。



男子1位 出澤 周大君(1-B)



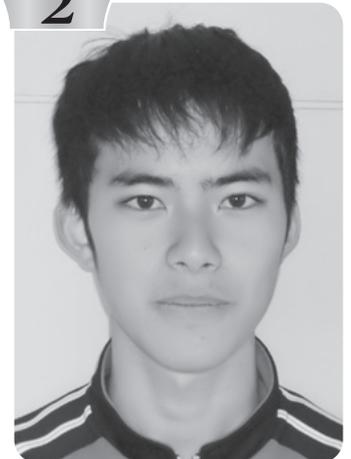
女子3位 濱嶋真千子さん(2-D)



女子2位 平野 真生さん(2-A)



男子3位 中林悠一郎君(2-F)



男子2位 保科 大樹君(1-C)

女子上位者

- 1位 日野まほろ (3-A) 2時間09分52秒
- 2位 平野 真生 (2-A) 2時間14分41秒
- 3位 濱嶋真千子 (2-D) 2時間18分12秒
- 4位 小林 悠奈 (1-F) 2時間22分30秒
- 5位 三澤菜々美 (1-E) 2時間34分01秒

男子上位者

- 1位 出澤 周大 (1-B) 1時間43分41秒
- 2位 保科 大樹 (1-C) 1時間43分45秒
- 3位 中林悠一郎 (2-F) 1時間46分58秒
- 4位 唐木 岳大 (2-E) 1時間50分37秒
- 5位 宮下 泰智 (2-C) 1時間50分47秒

8月29日(木)・30日(金)



クラスマッチ



秋期クロスペンアカデミー

江川 紹子氏 講演会

演題「混迷の時代を生きる“命の重さ”」



江川 紹子氏

講師紹介

1958年 東京生まれ
 1982年 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業
 神奈川新聞社入社
 1987年 同社を退社、以後フリー
 1995年 菊池寛賞受賞
 1996年 編集者が選ぶ雑誌ジャーナリズム賞受賞
 2011年 編集者が選ぶ雑誌ジャーナリズム賞受賞

国際情勢や国内の社会問題、教育問題、人権・平等に関して、精力的に取材・執筆。近年では、東日本大震災や熊本地震の取材、郵便不正事件や美濃加茂市長が収賄罪に問われた事件など、刑事司法の様々な問題を追究。検察の在り方検討委員会に就任するなど、多方面に活躍中。

生徒の感想

この講演を聞いて、そもそもこういった情報や価値観、考える自由が与えられた環境にあることがどれだけ幸せなことなのか、ということが身にしみました。そして、その情報が得られ、考えるだけの環境があるのにも関わらず無関心でいたことを思い知りました。世界には不条理があってそれでも屈しない人がいて、世界を変えようとする人がいる一方で、私は今何をしようとしているのだろうかと足元が揺らぐような心持ちです。「どのような命にも多くの命がつながっている」という内容がものすごく頭に残っています。私は私につながっている多くの人にどんなものを残せるでしょうか。残すために何をしたらいいのでしょうか。胸と頭がいっぱいでどうにもまとまりませんが、良い経験ができました。本当にありがとうございました。

生徒の感想

現代がどうい時代なのかを目の当たりにした時間だった。国内外にある壁、知っているようで知らなかったサリン事件の事やその被、加害者の事や家族のこと、絶えぬ紛争…。同じ「今」という時を過ごしている自分や自分を取り巻く環境の甘さを痛感すると共に、多様な価値観に耳を傾けて、自分はどうかという疑問を抱くことが現在の社会を生きる上で大切なことだと感じた。江川さんのお話は、決して意見を一つだけに絞らず、一つの物事に対する人々の考えを多く述べていたことだ。直接言葉にはしていらっしゃらなかったけれども、多くの意見を受けて明確な意見を持って、というメッセージを暗示しているように思えた。本日は素晴らしいお話をありがとうございました。

保護者の感想

ごく普通の、悩みを抱えた若者が大きな犯罪を犯す加害者になる怖さを感じました。様々な状況で誤った道に進まないためにも、周りに流されずに疑問を感じたら立ち止まり、声を上げられる人間にならなければならないと思いました。自分の利益ばかりを追求し、それを邪魔する他者を排除しようとする動きが今も至るところであると思いますが、相手の立場も考え、思いやりを持って行動できるような人でありたいと思うし、子供にもなってほしいと強く思いました。非常に感銘を受けました。ありがとうございました。



- 江川先生より以下の本3冊とDVDを寄贈していただきました。学校の図書館より貸出できますのでご利用ください。
- 『「カルト」はすぐ隣に：オウムに引き寄せられた若者たち』（岩波ジュニア新書）
- 「勇気ってなんだろう」（岩波ジュニア新書）
- 「人を助ける仕事」（小学館文庫）
- DVD「あかり」/ ワカバ（平成22年度内閣府「いのちを支える（自殺対策）」プロジェクトキャンペーンソング）

Memo

薫ヶ丘クロスペンアカデミー (Cross Pen Academy)

平成15（2003）年度、学校5日制に伴い、土曜日の有効活用の一つとして「薫ヶ丘クロスペンアカデミー」が、同窓会・PTA・学校の共催により始まる。学問(知)へのインセンティブをもたらす事、及び学力の向上を図るための講座・講習・研修を実施している。

こんにちは先輩

～19人の先輩方から進路・生き方を学びました～

	氏名	所属
1	芦部 喜一	元天竜精機社長
2	伊藤 聡	アンサンプル会
3	内藤 睦夫	教と育研究所
4	羽場友里枝	産直新聞 / 長野もりあげ隊
5	山本 勲	(有)長野工作
6	春日 和也	株式会社精農舎
7	榎本 浩美	やまとわ
8	田中 聡子	ローカルライフ / 地域起こし協力隊 / フリーライター
9	小松 一輝	理学療法士 / WANT TO BE.LABO
10	鈴木 志保	肉のスズキヤ
11	平賀 研也	長野県立図書館館長
12	濱野 洋光	伊那食品工業
13	棒 剛太	伊那市創造館館長
14	宮下 拓也	西駒山荘管理人 / 杜氏
15	唐木 玲	伊那市職員 / 上伊那広域連合派遣
16	原 智美	伊那市職員 / 伊那市社会福祉協議会派遣
17	須永 次郎	暮らしと建築社
18	榎堀 秀和	サン工業株式会社
19	久保村 徹	大明科学工業株式会社

(順不同、敬称略)



Memo

総合的探求の時間

(1)生徒がこの地域で活躍する大人に質問し、その方々がどのような考え方で生きているのかを知り、自分の将来に向けて知りたいことや、地域の課題に対する取り組み方について考える、(2)SDGsの考え方を踏まえて、地域の課題について自分の事として捉える視点を獲得する、という目的で実施。地域の19人の先輩方から話を聞いた。

近年の入試動向と 来年度の入試改革について

本来は…
1年生は将来のことを
じっくり考える
学年です！



とやま いくまさ
講師 外山 郁薫氏

信学会駿台提携
信州予備校 進路アドバイザー

入試制度の、何が違って、何が変わらないのか、
なにを準備しなければいけないのか、しっかりと仕組みや
状況を理解したうえで進路決定をしていきましょう。
「受け身ではダメ!」「自分で調べ、自分で考える!」



～ 講演を聞いて～

*** 生徒から ***

- ・僕たちが知らないような入試の情報を知ることができた。
- ・この時期からちゃんと考えていかないとと思った。
- ・もっといろいろな学校のことも聞きたかった。

*** 保護者から ***

- ・外部試験導入、国語の記述、親が理解できていない。
- ・何万人もの記述を公平に採点できるのだろうか。
- ・現場の先生や生徒たち、大学の意見が反映された改革なのか。
- ・親が勉強しないといけない。



☆受験に望む子供たちの不安を少しでも軽くできるよう、
保護者も先生方と協力していきましょう!! ☆



Memo

PTS (Parent Teacher Student)

昭和45 (1970) 年以來の伝統行事である生徒、保護者、先生三者による合同活動。1学年は、予備校の進路アドバイザーの先生を招いて、保護者も参加して講演会を行った。

大学受験の現状と現役合格に向けて

講師 河島 優氏

河合塾東日本営業部
関東営業チーム、チーフ

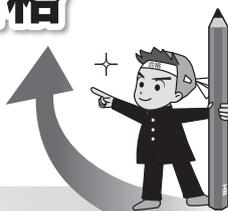


「大学入学共通テスト」などについてわかりやすくお話をしていただきました。

志望大学に現役合格 するために

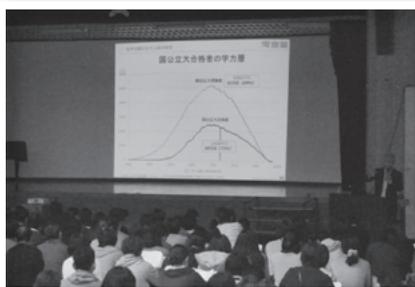
その条件とは

1. 早い時期での志望校決定
2. 早い時期での本格的受験勉強の開始
3. 授業中心で予習・復習をうまく活かす
4. 定期試験・模擬試験をうまく活かす
5. 毎日の勉強の積み重ね
6. 情報をうまく集める
7. 絶対にあきらめない



大学受験に向けて 保護者としての心構え

1. 受験期の子供との信頼関係
2. 受験に関わるマネー学
3. 準備不足によるトラブルの回避
4. 国公立大学・私立大学の傾向と特徴の把握
5. 推薦入試の種類とポイント



Memo

PTS (Parent Teacher Student)

昭和45(1970)年以來の伝統行事である生徒、保護者、先生三者による合同活動。2学年は進路講演会が行われ、生徒と共に保護者も熱心に聞き入った。

活躍する伊那北生

ダンス部

2019全国中学校高等学校 ダンスドリル冬季大会 令和2年 1/18~19



2C 柴 ひなた 2B 光澤 早弥花 2D 倉田 紗良

私たちはダンスドリル選手権地区大会JAZZ small部門で全国大会の出場権を頂きました。JAZZのメンバーは、中学3年生まで一緒に新体操をしていた3人で、Hip HopとJAZZを両立しています。部員全員で踊るHip Hopとは別にJAZZを練習するため、時間がとれずにおそろかになってしまうことがないように、最高の演技に仕上げ、使用曲の「いのちの名前」と共に、見てくださる方々へ感動を届けられるように踊りたいと思います。また、二種目で出場させていただけるという嬉しさ、支えてくださっている全ての方々への感謝の気持ちを忘れずに全国の舞台に立ってきます。



- | | | |
|---------|-----------------|-----------|
| 2A 小澤彩菜 | 2B 坂下由佳 (キャプテン) | 福與寿花 |
| 2D 井上瑞葉 | 2E 田中しおり | 友松ひかり |
| 2F 五味零弥 | 上田菜乃 | |
| 1A 坂口凜花 | 西村桜呼 | |
| 1B 伊東香楓 | 鈴木亜佑 | 平澤 繭 山下夏未 |
| 1D 清水春花 | 吉田 結 | |
| 1E 飯島晴菜 | 小木曾楽々 | 佐藤 涼 |
| 1F 木ノ島旺 | | |



私たちダンス部は東京都で行われる全国高等学校ダンスドリル冬季大会に出場します。先輩、後輩関係なくとても仲が良く、みんなで意見を出し合いながら楽しく練習しています。日々妥協せず練習を積み重ねてきた部員全員で出場できることが本当に嬉しいです。この仲間で踊る最後の大会、最高の思い出の1ページとなるように、ダンス部を支えてくださる全ての方々に感謝しながら、全国大会でも高みを目指して自分たちのダンスを全力で楽しんでいきます！

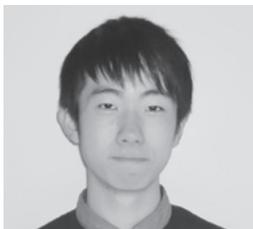
将棋部

第28回全国高等学校文化連盟 将棋新人大会 令和2年 2/6~8



1E 松澤 咲

「私は1年」、「新人戦全国大会は初めてだから…」という事には一切甘えません。努力は惜しまず、全国大会では勝負にこだわり、長野県代表・伊那北代表の高校生棋士として恥ずかしくない礼儀とマナーで臨みます。一生懸命戦ってきますので、応援よろしくお願いします。



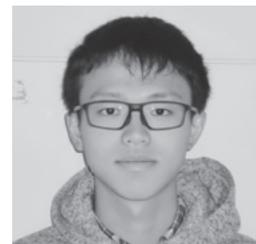
1F 鈴木 麻弘

まだまだ未熟ながら全国大会への切符を手に入れたこと嬉しく思います。全国大会は今までの大会の中でもレベルが高く、なかなか勝つことができないと思います。ですが、今まで研究してきた自分を信じて、礼儀正しく、最後まで諦めずに戦いたいと思います。

自転車部

第25回シクロクロス 全日本選手権大会

令和1年 12/7~8



3C 鈴木 来人

12/7~8に愛媛県内子町で行われる2019シクロクロス全日本選手権大会に出場します。優勝を目指してしっかりと走ってきます。応援よろしくお願いします。

卒業おめでとう



A組 担任 福澤 桂



みなさんのおかげで楽しい時を過ごすことができました。ここからの感謝です。いつでもいつまでも、みなさんが前向きに生きていくことを応援しています。

B組 担任 島岡 純司

卒業おめでとうございます。みなさんには無限の可能性が広がっています。新たな世界での活躍を期待しています。



C組 担任 松澤 保隆



高校を卒業するとこれまでとは比較にならない自由が手に入りますが、同時に責任も背負わなければなりません。大変な事ですが、自分の力で一步步ずつ歩いて行ってください。

D組 担任 宮澤 芳博

心の問いに自分なりの「正解」を見つける道程は、平坦ではないかもしれない。薫岡で、皆が個性的で、素晴らしい仲間たちと過ごした思い出を糧に、ずっと歩き続けてほしい。



E組 担任 小山 剛史

互いを思いやり、一緒に励まし合って成長してきた三年間だったと思います。伊那北での日々を胸に、力強く次のステージへ進んでいきましょう。また会おうね!



F組 担任 安達 隆太

卒業おめでとうございます。

皆さんの今後のご活躍を楽しみにしています。



GRADUATION



KUNREI

No.145
令和2(2020)年2月

編集後記

『薫嶺』一四五号が発行され、皆様にお届けすることができたことに広報委員一同、安堵しております。四月に広報委員会が集まり、私自身が初めての仕事内容にとっても戸惑い不安もありましたが、委員の皆様、担当の先生方にお力添え頂き、作業を完了することができました。

さて、子供たちの一生懸命な姿をご覧いただけただけでしょうか。私たち広報委員、手探りではあります。すが写真を撮りに行事に足を運び、写真を選び誌面を作らせて頂きました。伊那北高校での子供たちの様子を少しでもお伝えできれば幸いです。

誌面制作にあたり、取材にご協力いただいた皆様、編集に携わった全ての皆様にこの場を借りて改めてお礼を申し上げます。

広報副委員長 **金田 美保**

編集担当

- | | |
|------------|--------------|
| 宮坂 真岐 (1A) | 柴 稔 (3E) |
| 西村 英晃 (1A) | 青木竜一郎 (3E) |
| 片桐 綾子 (1E) | 井崎 由華 |
| 南波 美加 (1E) | (2E・PTA副会長) |
| 竹村 勤 (2A) | 清水 光吉 (3E) |
| 小牧 美穂 (2A) | 金田 美保 (3A) |
| 中山 広美 (2E) | 埋橋 元 |
| 南澤 順子 (2E) | 天野ひとみ (担当職員) |
| 日野 祥子 (3A) | 松村 真一 (教頭) |